

▼愛知中学校3年生のパワーを感じる作品の数々



第8回愛知中学校卒業展

「第8回愛知中学校卒業展」が愛知川図書館・びんてまりの館で2月8日から3月5日まで開催されました。

今年の卒業展では『みんなの幸せ∞(むげんたい)』をテーマに、生徒たちが今まで学んできたことの集大成として、自分たちの思いを表現した作品の数々が展示されていました。

来場された方々は、「平和・自由・幸福」をイメージした絵画作品や、自分自身のトレードマーク、おすすめ本を紹介する「私の推し本」など、今を生きる中学生の生き生きとした作品を楽しんでいました。

▼黄瀬さんのパフォーマンスを見る園児たち



秦荘幼稚園でけん玉教室

2月14日、秦荘幼稚園で、愛荘町の地域おこし協力隊の黄瀬 尚大さんによるけん玉教室が行われました。

黄瀬さんは、約100種類のけん玉の技ができる、けん玉名人で、昨年の紅白歌合戦では、三山ひろしさんの「けん玉ギネスチャレンジ」にも出場されました。園児たちは、黄瀬さんから様々な技を教わり、けん玉を楽しむとともに、黄瀬さんのけん玉パフォーマンスに目を輝かせながら見入っていました。

また、園児からは「どうやって名人になったの?」「けん玉を皿に乗せるコツは?」など質問が飛び交い、教室は大いに盛り上がりました。

まちでがんばるみなさんを紹介します

蚊野雅楽会「千鳥会」

2月20日、蚊野雅楽会「千鳥会」による雅楽演奏会が秦荘東小学校で行われました。

「雅楽」とは、中国やベトナムを経て、日本で開花した伝統芸能で、1200年以上の歴史がある古典音楽です。演奏では、箏、篳篥、笙、尺八、琵琶、三味線、太鼓が使われ、児童たちは初めて見る楽器に見入っていました。

蚊野雅楽会「千鳥会」は、地元で雅楽の普及活動をされている団体で、神社の祭礼や仏閣法要、老人会や地域の催しでの雅楽演奏、町内の学校での雅楽出前講座などを行っておられます。

同会代表の北村 耕二さん(蚊野)は「地域に根差した活動を通して、地域を元気にしていきたいです。生の演奏に感動したと言ってもらえると嬉しい気持ちになります」と話されていました。

また、児童は「雅楽はすごく迫力があって感動しました。実際に楽器を持ってみたいと思います」と話していました。

児童は、雅楽演奏を通して、日本の伝統文化の理解を深めました。



▲蚊野雅楽会「千鳥会」の皆さん



▲演奏前に鳳笙を火鉢であたためる様子

人推協だより
ほっと・あい 第203号

愛荘町人権教育推進協議会

問(事務局)教育委員会生涯学習課内(秦荘庁舎)
☎0749-37-8055 FAX0749-37-4192

事業所・団体向け

人権啓発DVDを貸し出ししています

町商工観光課では、事業所や団体の人権学習教材としてDVD等を無料で貸し出ししています。今年度も、新たに作品を購入しました。ぜひ職場等の人権研修にご活用ください!

タイトル	内容
誰ひとり取り残さないための職場の人権シリーズ① 「よかったら“想い”を聴かせて」 ～自分も相手も大切にするために～ DVD・29分作品	「ハラスメント」をはじめとした職場における6つの人権テーマ(ハラスメント、いろいろな性、外国人、障がい者、働き方、部落差別)を切り口に、相手の想いを聴くこと・自分の想いを伝えること・お互いに受け止め合うことの大切さを登場人物たちと共に考えていきます。自分も相手も大切にするためにはどういったコミュニケーションが必要なのか?職場の川柳同好会を舞台にしたドラマを通して学んでいく作品です。
「人権のすすめ」 ■ハラスメント編(約8分) ■いろいろな性編(約8分) ■障がい者編(約9分) DVD・作品	職場における3つのテーマ、「ハラスメント(ジェンダーハラスメント)」、「いろいろな性(性のあり方)」、「障がい者(無意識の偏見)」を取り上げ、それぞれ独立したミニドラマを通して考えていきます。それぞれのドラマの中の「気づき」から、多角的に人権問題を学べる作品です。
「想いの“架け橋”になる」 公正な採用選考のために DVD・28分作品	採用選考は、応募者と企業の想いを結ぶ“架け橋”といえます。両者をつなぐ採用選考の場は、応募者の人権を尊重し、広く門戸を開き、適性と能力をはかる適切な評価基準をつくるのが重要です。この作品は人事部に配属された新入社員が上司のあたたかい指導を受け、同期入社社員と心の交流をしながら、採用選考の基本を身に付けていく成長の物語です。
部落の心を伝えたい シリーズ番外編 「靴下の穴から未来が見えた」 どうする部落問題学習 どうすすめる人権啓発 ■上巻 27分 ■下巻 30分 DVD・作品	70代の江嶋 修作(社会学者・解放社会学研究所所長)、40代の川口 泰司(解放研究所理事・山口県人権センター事務局長)、50代の坂田 かおり(解放研究所理事・人権テイク・ルート代表)、20代の愛梨と瑠梨(看護師)は、いずれも明るく楽しいまじめな講演が人気で全国に多くのファンをもつ論客です。この5人が部落問題を語りつくす前代未聞のシンポジウムを開催します。白熱の議論を上下巻にまとめた作品です。

◆ 詳しくは、町商工観光課(☎0749-37-8057)までお問い合わせ下さい。◆